

四半期報告書

(第26期第2四半期)

自 平成24年7月1日
至 平成24年9月30日

株式会社ゴルフ・ドウ

さいたま市中央区上落合二丁目3番1号

表 紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	1

第2 事業の状況

1 事業等のリスク	2
2 経営上の重要な契約等	2
3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	2

第3 提出会社の状況

1 株式等の状況

(1) 株式の総数等	4
(2) 新株予約権等の状況	4
(3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等	4
(4) ライツプランの内容	4
(5) 発行済株式総数、資本金等の推移	4
(6) 大株主の状況	5
(7) 議決権の状況	5

2 役員の状況	6
---------------	---

第4 経理の状況	7
----------------	---

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
四半期連結損益計算書	10
四半期連結包括利益計算書	11
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12

2 その他	15
-------------	----

第二部 提出会社の保証会社等の情報	16
-------------------------	----

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年11月14日
【四半期会計期間】	第26期第2四半期（自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日）
【会社名】	株式会社ゴルフ・ドゥ
【英訳名】	GOLF・DO CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 伊東 龍也
【本店の所在の場所】	埼玉県さいたま市中央区上落合二丁目3番1号
【電話番号】	（048）851－3111（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 経営管理本部長 大井 康生
【最寄りの連絡場所】	埼玉県さいたま市中央区上落合二丁目3番1号
【電話番号】	（048）851－3111（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 経営管理本部長 大井 康生
【縦覧に供する場所】	株式会社名古屋証券取引所（セントレックス） （愛知県名古屋市中区栄三丁目8番20号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第25期 第2四半期連結 累計期間	第26期 第2四半期連結 累計期間	第25期
会計期間	自平成23年 4月1日 至平成23年 9月30日	自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日	自平成23年 4月1日 至平成24年 3月31日
売上高（千円）	2,008,156	2,363,387	4,043,595
経常利益（千円）	73,456	115,945	130,381
四半期（当期）純利益（千円）	61,541	81,588	103,708
四半期包括利益又は包括利益 （千円）	54,693	72,249	107,536
純資産額（千円）	429,810	556,013	483,763
総資産額（千円）	2,018,796	2,166,432	1,970,981
1株当たり四半期（当期）純利益 金額（円）	4,973.46	6,577.59	8,379.14
潜在株式調整後1株当たり四半期 （当期）純利益金額（円）	—	—	—
自己資本比率（％）	21.3	25.7	24.5
営業活動による キャッシュ・フロー（千円）	175,489	36,937	188,164
投資活動による キャッシュ・フロー（千円）	△606	△10,880	△10,668
財務活動による キャッシュ・フロー（千円）	△151,306	152,524	△331,688
現金及び現金同等物の四半期末 （期末）残高（千円）	396,529	397,402	221,127

回次	第25期 第2四半期連結 会計期間	第26期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年 7月1日 至平成23年 9月30日	自平成24年 7月1日 至平成24年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額（円）	3,854.72	3,935.33

- （注）1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税は含まれておりません。
3. 第25期第2四半期連結累計期間及び第25期の潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第26期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興関連需要など国内需要が底堅く推移するものの、円高の長期化や欧州財政危機そして中国や韓国における反日活動等の影響が懸念され、企業活動の低迷や消費マインドの停滞等、足元の景況感としては不確実な状況が続いております。

ゴルフ業界におきましては、昨年の震災の影響による自粛ムードから、消費者の購買意欲は回復に向かい、プレー人口でも、シニアや女性が増え、1ゴルフ場あたりの平成24年度の来場者数見通しが平成23年度比7.2%増と2年ぶりのプラスとなり、堅調に推移していることが「第18回ゴルフ場主要コース調査」（日本経済新聞社）から発表される等、明るい兆しが表れております。

このような経営環境のもと、当社グループでは引き続き、事業全体の収益性向上を目指し、業務の効率化や在庫の適正化等による粗利率の改善及び経費削減に努めてまいりました結果、売上高、経常利益が堅調に推移いたしました。また、店舗につきましては、直営事業、フランチャイズ事業ともに新規出店はありません。フランチャイズ事業においては平成24年4月末日と9月末日に1店舗ずつの閉店があり、その結果、平成24年9月末日現在の営業店舗数は全国で合計71店舗となっております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は売上高が23億63百万円（前年同四半期比117.7%）、営業利益が1億17百万円（同158.5%）、四半期純利益は81百万円（同132.6%）となりました。

なお、セグメント別の状況は以下のとおりであります。

①（直営事業）

当第2四半期連結累計期間においては、人気ブランドの一部ヒット商品が購買意欲を回復させ、中古クラブや用品の販売を牽引してまいりました。さらに顧客獲得のための弊社独自の接客向上策を推進してまいりましたことと、既存会員に向けた販促施策等により、リピーター顧客の増加と、購入顧客数が増えたことにより、当第2四半期連結累計期間の売上高前年比は108.2%となりました。

その結果、直営事業の売上高は13億16百万円（前第2四半期連結累計期間12億16百万円）となりました。またセグメント利益は1億5百万円（同91百万円）となりました。

②（フランチャイズ事業）

当第2四半期連結累計期間においては、当初想定した予算のとおりには加盟店の売上高が達成できず、計画のとおりロイヤリティ収入が確保できませんでした。また、4月末日と9月末日に小規模な店舗が1店舗ずつ閉店いたしました。

その結果、フランチャイズ事業の売上高は1億92百万円（前第2四半期連結累計期間2億20百万円）となりました。また、セグメント利益は82百万円（同89百万円）となりました。

③（営業販売事業）

当第2四半期連結累計期間においては、期初から人気ブランドの一部ヒット商品による受注が大型店から小型専門店、ネット事業者に至るまで数カ月間に亘り拡大した結果、売上高は大幅に増加しました。

その結果、営業販売事業の売上高は8億54百万円（前第2四半期連結累計期間5億71百万円）となりました。また、セグメント利益は46百万円（同5百万円）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は（以下「資金」という。）は、当第2四半期連結累計期間期首に比べ1億76百万円増加し、3億97百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得た資金は36百万円となりました。

これは、主に税金等調整前四半期純利益、売上債権の増加、仕入債務の減少によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により支出した資金は10百万円となりました。

これは、主に固定資産取得、敷金及び保証金による支出と建設協力金の回収によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により得た資金は1億52百万円となりました。

これは、短期借入金と長期借入金の増加によるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数（株）
普通株式	44,000
計	44,000

②【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在 発行数（株） （平成24年9月30日）	提出日現在発行数（株） （平成24年11月14日）	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	13,113	13,113	名古屋証券取引所（セントレックス）	単元株式数 1株
計	13,113	13,113	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年 月 日	発行済株式 総数増減数 （株）	発行済株式総 数残高（株）	資本金増減額 （千円）	資本金残高 （千円）	資本準備金増 減額（千円）	資本準備金 残高（千円）
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日	—	13,113	—	501,320	—	178,372

(6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
松 田 芳 久	さいたま市南区	5,732	43.71
中 村 義 和	長崎県佐世保市	489	3.72
佐 藤 弘 子	愛知県東海市	400	3.05
ラオックス株式会社	東京都港区芝2丁目7-17	400	3.05
モルガン・スタンレーMUFG 証券株式会社	東京都渋谷区恵比寿4丁目20-3	230	1.75
伊 東 龍 也	さいたま市南区	185	1.41
渡 邊 和 彦	神奈川県横須賀市	165	1.25
株式会社丸三	島根県出雲市渡橋町1239	163	1.24
フォーク株式会社	加須市土手1丁目11-24	132	1.00
今 井 み き	さいたま市中央区	130	0.99
計	—	8,026	61.20

(注) 上記のほか自己株式が709株あります。

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式 (自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式 (その他)	—	—	—
完全議決権株式 (自己株式等)	普通株式 709	—	—
完全議決権株式 (その他)	普通株式 12,404	12,404	—
単元未満株式	—	—	—
発行済株式総数	13,113	—	—
総株主の議決権	—	12,404	—

② 【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数 (株)	他人名義所有 株式数 (株)	所有株式数の 合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合 (%)
株式会社ゴルフ・ドゥ	埼玉県さいたま市 中央区上落合 二丁目3番1号	709	—	709	5.40
計	—	709	—	709	5.40

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月 31 日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成24年 9 月 30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	221, 127	397, 402
受取手形及び売掛金	227, 389	276, 678
商品	775, 866	778, 006
繰延税金資産	54, 710	55, 757
その他	32, 678	30, 819
貸倒引当金	△3, 717	△3, 581
流動資産合計	1, 308, 055	1, 535, 082
固定資産		
有形固定資産	203, 022	188, 194
無形固定資産		
のれん	56, 799	48, 060
その他	35, 884	33, 973
無形固定資産合計	92, 683	82, 034
投資その他の資産		
その他	383, 344	377, 245
貸倒引当金	△16, 124	△16, 124
投資その他の資産合計	367, 220	361, 121
固定資産合計	662, 926	631, 350
資産合計	1, 970, 981	2, 166, 432
負債の部		
流動負債		
買掛金	249, 975	213, 613
短期借入金	230, 000	260, 440
1年内返済予定の長期借入金	223, 958	252, 414
未払法人税等	12, 063	20, 644
賞与引当金	18, 742	21, 728
ポイント引当金	21, 037	19, 057
その他	125, 895	116, 834
流動負債合計	881, 671	904, 731
固定負債		
長期借入金	447, 530	539, 982
退職給付引当金	77, 084	86, 694
資産除去債務	27, 424	27, 710
その他	53, 506	51, 300
固定負債合計	605, 546	705, 687
負債合計	1, 487, 217	1, 610, 419

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31 日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成24年 9 月30 日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	501, 320	501, 320
資本剰余金	178, 372	178, 372
利益剰余金	△165, 246	△83, 657
自己株式	△23, 625	△23, 625
株主資本合計	490, 821	572, 410
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△829	△3, 485
為替換算調整勘定	△6, 228	△12, 910
その他の包括利益累計額合計	△7, 057	△16, 396
純資産合計	483, 763	556, 013
負債純資産合計	1, 970, 981	2, 166, 432

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	2,008,156	2,363,387
売上原価	1,290,621	1,586,514
売上総利益	717,534	776,872
販売費及び一般管理費	※ 643,396	※ 659,353
営業利益	74,138	117,519
営業外収益		
受取利息	1,715	1,613
受取手数料	1,395	1,435
為替差益	4,722	1,542
その他	1,065	782
営業外収益合計	8,898	5,373
営業外費用		
支払利息	8,699	6,860
その他	881	87
営業外費用合計	9,580	6,948
経常利益	73,456	115,945
特別損失		
固定資産売却損	37	—
特別損失合計	37	—
税金等調整前四半期純利益	73,419	115,945
法人税、住民税及び事業税	13,332	35,769
法人税等調整額	△1,455	△1,412
法人税等合計	11,877	34,356
少数株主損益調整前四半期純利益	61,541	81,588
四半期純利益	61,541	81,588

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	61,541	81,588
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,498	△2,655
為替換算調整勘定	△8,347	△6,682
その他の包括利益合計	△6,848	△9,338
四半期包括利益	54,693	72,249
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	54,693	72,249

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	73,419	115,945
減価償却費	23,892	22,051
長期前払費用償却額	956	1,016
のれん償却額	8,738	8,738
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△196	△136
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2,652	9,610
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,062	3,200
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△1,517	△1,980
受取利息及び受取配当金	△1,891	△1,791
支払利息	8,699	6,860
売上債権の増減額 (△は増加)	2,161	△57,651
たな卸資産の増減額 (△は増加)	115,156	△6,568
仕入債務の増減額 (△は減少)	△47,124	△29,678
未払金の増減額 (△は減少)	△7,718	4,357
未払費用の増減額 (△は減少)	1,218	1,408
未払消費税等の増減額 (△は減少)	18,976	△10,131
その他	477	6,356
小計	200,962	71,605
利息及び配当金の受取額	1,875	1,773
利息の支払額	△8,522	△6,618
法人税等の支払額	△18,825	△29,822
営業活動によるキャッシュ・フロー	175,489	36,937
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,122	△2,033
無形固定資産の取得による支出	△2,714	△10,341
敷金及び保証金の差入による支出	—	△7,690
敷金及び保証金の回収による収入	4,129	4,044
貸付金の回収による収入	196	136
建設協力金の回収による収入	4,904	5,004
投資活動によるキャッシュ・フロー	△606	△10,880
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△30,610	31,616
長期借入れによる収入	—	250,000
長期借入金の返済による支出	△120,696	△129,092
財務活動によるキャッシュ・フロー	△151,306	152,524
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,266	△2,306
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	21,310	176,274
現金及び現金同等物の期首残高	375,218	221,127
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 396,529	※ 397,402

【会計方針の変更等】

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
給与	158,641千円	158,591千円
賞与引当金繰入額	19,423千円	21,778千円
退職給付引当金繰入額	7,031千円	11,672千円
減価償却費	23,892千円	22,051千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
現金及び預金勘定	396,529千円	397,402千円
現金及び現金同等物	396,529千円	397,402千円

(株主資本等関係)

I 前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

配当に関する事項

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

配当に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	直営	フランチャイズ	営業販売	
売上高				
外部顧客への売上高	1,216,423	220,692	571,040	2,008,156
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,216,423	220,692	571,040	2,008,156
セグメント利益	91,549	89,509	5,282	186,340

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	186,340
のれんの償却額	△8,738
全社費用（注）	△103,463
四半期連結損益計算書の営業利益	74,138

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	直営	フランチャイズ	営業販売	
売上高				
外部顧客への売上高	1,316,202	192,669	854,516	2,363,387
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,316,202	192,669	854,516	2,363,387
セグメント利益	105,926	82,735	46,033	234,695

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	234,695
のれんの償却額	△8,738
全社費用（注）	△108,437
四半期連結損益計算書の営業利益	117,519

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)
1 株当たり四半期純利益金額	4,973円46銭	6,577円59銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 (千円)	61,541	81,588
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額 (千円)	61,541	81,588
普通株式の期中平均株式数 (株)	12,374	12,404
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変更があったものの概要	—	

- (注) 1. 前第 2 四半期連結累計期間の潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 当第 2 四半期連結累計期間の潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月 9 日

株式会社ゴルフ・ドゥ

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員 公認会計士 松 本 保 範 印
業 務 執 行 社 員

指定有限責任社員 公認会計士 瀬 戸 卓 印
業 務 執 行 社 員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ゴルフ・ドゥの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ゴルフ・ドゥ及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれておりません。